

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
英語の4技能の育成と評価	栃木県立足利女子高等学校	全日制普通科

ア 取組状況について

① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校は開校110年目の高等学校である。各学年5クラス、計15クラス（1学年：普通科、2学年及び3学年：普通科文系3クラス、普通科理系2クラス）の全日制的な女子校である。
- ・令和4年度に、県立足利高等学校（男子校）との統合新校が発足することが決定しており、その準備の一環として、次年度入学生の学年より足利高校と共通の教育課程が採用される。

(授業展開)

- ・授業をできるだけ英語で実施し、ペアワーク、グループワークを積極的に取り入れて、生徒が英語を使用する場面も多く設定している。
- ・内容のまとめりごとのリテリングや単元のまとめとしてのスピーチ（要約＋意見）活動を取り入れている。
- ・時期を区切って集中的にリスニング力を高める演習を帯び活動として導入している。
- ・全学年を対象にALTとのチームティーチングを実施している。また、スピーチの発表原稿の添削や、エッセイライティングの指導における添削指導もALTとともにやっている。
- ・1、2年次には本や新聞を読んだ感想を英文で書く活動やラジオ講座の受講を推奨し、その活動記録を提出させている。

(評価の工夫)

- ・授業中の生徒の活動をモニタリングし、その都度評価を加える形成的評価を実施しているが、記録をとって教科の評点に反映させるところまでには至っていない。
- ・英語科として、ALTを活用したパフォーマンステストの導入について実践検討に入っている。

② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・県総合教育センター主催の「英語授業力向上研修」には、平成27年度より5年間で英語科教員全員が受講する計画となっており、指導力の向上を図っている。
- ・年に2回の授業見学週間を活用し、お互いの授業を評価し合って、4技能を活性化させる授業の展開についての研究を進めている。
- ・近隣学校（SGHやSSH指定校）の授業公開事業に積極的に参加し、情報の共有を行っている。

(外部人材の活用)

- ・全学年がALTとのチームティーチングを実施しているため、授業の打ち合わせを英語で行ったり、生徒の状況についての情報交換を行ったりする過程で英語力の向上を図っている。

③ 校内組織

- ・英語科内に外部検定試験（GTEC）の係を設け、実施方法について進路指導部と協議をしたり、実施後の教材やデータの活用法について検討をしたりしている。
- ・国際理解教育係と連携して、海外留学・外部検定試験・スピーチコンテスト等の情報提供及び参加生徒の指導を積極的に行うとともに、本校独自の行事であるグローバル研修（オーストラリアホームステイ約10日間、希望者）の事前研修の指導に協力している。

④ 施設設備

- ・可動式スクリーンとプロジェクタが用意されており、必要に応じて使用が可能である。また、パソコン室の利用も空室状況により可能である。
- ・生徒への活動にフィードバック、評価への活用を目指してICレコーダを3台用意している。

⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法

- ・高教研英語部会での研究協議や研修を通して情報の共有を図る。
- ・研究紀要等への寄稿により研究成果を発表している。

⑥ その他

- ・ALT、留学生、留学帰国生と希望生徒が自由に英語で会話する会“English Lunch”を実施している。

イ 今後の課題

- ・校内設備の整備 Wi-Fi環境やタブレット等
- ・パフォーマンステストをはじめとするテストや形成的評価等の評価の研究